

重点的に取り組む主な経営課題

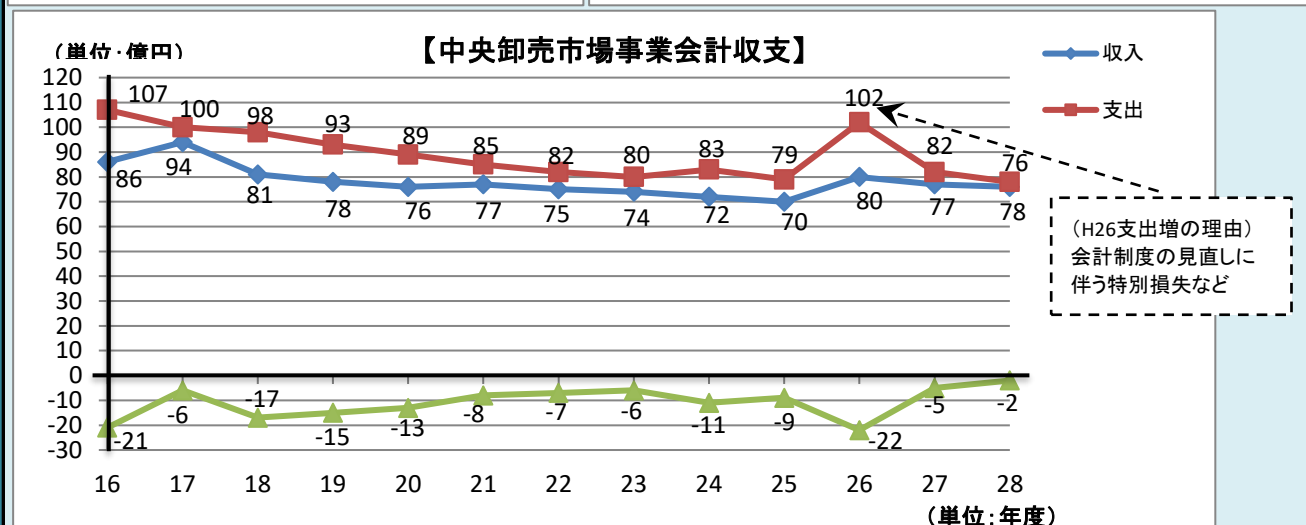
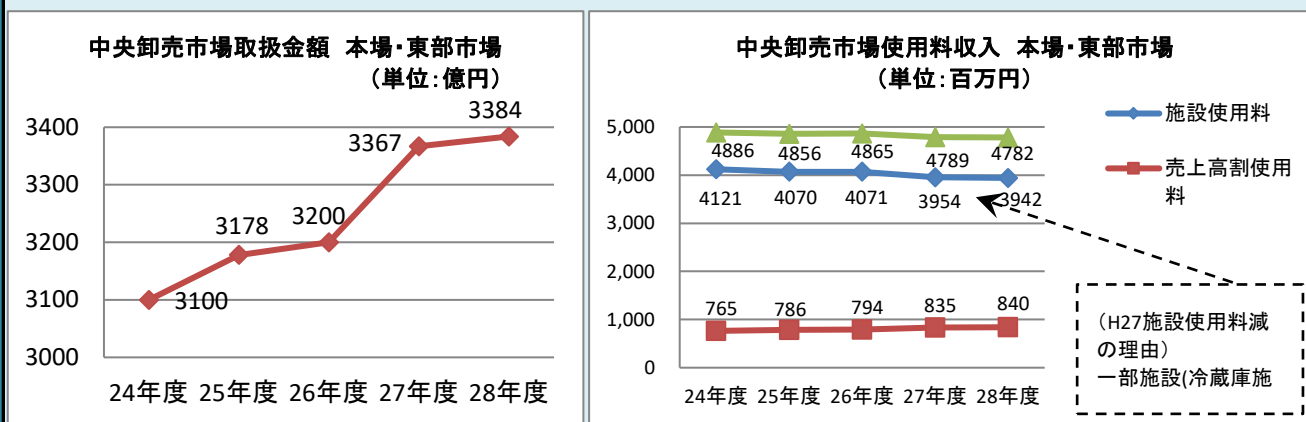
経営課題1

【経営基盤の強化】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

安全・安心な生鮮食料品を安定的に供給するという中央卸売市場の有する社会的役割・機能を10年後も安定的かつ持続的に発揮していく。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）



要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

・卸売市場を取り巻く情勢は、市場外流通の増加などの影響を受け、卸売市場経由率については全国的に減少傾向が続いており、少子高齢化による消費の低迷もみられるが、大阪市中央卸売市場の青果物、水産物の取扱金額は横這い傾向から微増になっている。一方で、施設使用料等の収入は、市場内事業者の経営状況が厳しく、若干減少傾向が続いている。

・平成21年度から取り組んできた「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく「経営健全化計画」は、計画より1年前倒しとなる平成27年度決算において経営健全化基準を達成したが、企業債利息の償還や減価償却費などの負担などにより、いまだに当年度損失が発生している状況である。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

・経営健全化基準達成後も依然として当年度損失が生じていることから、赤字解消に向けた取り組みを積極的に行っていかなければならない。

・市場をめぐる状況は厳しさを増しているが、生鮮食料品を安定供給する流通の拠点施設として、さらには大都市の基本インフラとして、今後ともその役割・機能を発揮していけるよう経営基盤の強化を図る必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

・市場機能の強化と経営の効率化の取り組みを進めた。

・経営の健全性を確保する取組については、平成27年度に作成した収支見込を達成するよう、引き続き経営の健全性を確保するための各種取組を実施する。

・指定管理者制度の導入については、改正卸売市場法の施行後の状況を踏まえながら、指定管理者が行う業務について、引き続き検討するとともに、当面は設備管理業務の委託範囲拡大など、民間活力を活用して業務の効率化に取り組んでいく。

・少子高齢化の進展や消費者ニーズの多様化など、市場を取り巻く環境や流通構造が大きく変化する中、卸売市場法の抜本的な改正がなされるなど、市場の在り方について大きな節目を迎えようとしている。中央卸売市場として、市場内事業者と連携し、将来にわたって安全・安心な生鮮食料品の流通拠点としての機能が十分に発揮できるよう市場の活性化に向けた取り組みを推進していく。

めざす成果及び戦略 1-1 【経営の健全性の確保】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>	
	安全・安心な生鮮食料品を安定的に供給するという中央卸売市場の有する社会的役割・機能を安定的かつ持続的に発揮していくための経営基盤の強化		中央卸売市場事業会計において引き続き経営の健全性を確保するため、収支の単年度黒字化と資金不足比率を20%未満に抑制するという考えに基づいた取組みをすすめる。	
計画	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>			
	中央卸売市場事業会計において資金不足を生じさせない:平成32年度まで			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況		前年度	個別 全体
	資金不足額見込:平成30年度見込「-」※「-」とは資金不足が生じていない状態を表す		資金不足比率「-」	A A
	今後の対応方向		※有効性が「イ」の場合は必須	
戦略の進捗状況		a	A:順調 B:順調でない	

具体的取組 1-1-1 【収支見込に基づく取組】★

		28決算額	- 円	29予算額	- 円	30予算額	- 円
計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)					
	平成27年度に作成した収支見込に基づき、引き続き経営の健全性を確保するための各種取組を実施していく。 (収入の取組み) ・本場業務管理棟の入居促進 ・資産の有効活用 ・一般会計繰入金積算根拠の見直し (支出の取組み) ・市場としての魅力を高めるため一定程度の投資は行う一方で、民間活力の活用や省エネルギー型機器の導入により既存施設・設備等の投資的経費を抑制するとともにランニングコストを削減 見込期間:平成28~47年度 単年度黒字化:平成41年度 資金不足額:平成28年度以降「-」 資金不足比率:平成28年度以降「-」 ※「-」とは資金不足額、資金不足比率が生じていない状態を表す	中央卸売市場事業会計において資金不足を生じさせない 【撤退基準】 (複数年事業) 前年度までの実績 経営健全化計画完了(平成27年度)					
中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	資金不足額:平成30年度見込「-」※「-」とは資金不足が生じていない状態を表す		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)				